



秋冬に気をつけたい子どもの感染症

暑さが和らいでほっとしたのもつかの間、これから冬にかけて、気温が下がり空気が乾燥する季節は、感染症の流行が心配されます。特に小さなお子さまがいらつしやるご家庭では、予防接種などについても考え始めていくところではないでしょうか。

いざというときに落ち着いて対処できるような、もう一度感染症の正しい知識と予防対策をおさらいしておきましょう。



感染症の種類と特徴

秋から冬にかけて流行しやすい感染症には、主に次のようなものがあります。

インフルエンザ

よく知られている感染症のひとつです。初期症状は風邪によく似ていますが、38℃以上の急な発熱や、筋肉痛、関節痛といった全身症状が現れる点が大きな特徴です。

「A型」「B型」「C型」に分類されており、特にA型、B型のインフルエンザが毎年12月～3月にかけて流行します。中でもA型は非常に変異しやすく、大流行を引き起こすことがあります。

RSウイルス感染症

RSウイルスは、2～3歳くらいまでにほぼすべての人が一度は罹患するとされています。冬に流行する傾向があり、発症を繰り返していくことで免疫が付き、軽症化していきます。鼻みず、せき、発熱など、風邪とよく似た症状がみられ、実際大人が罹患した場合は症状が軽いため、風邪と診断される

ことが多いようです。

ただし、乳幼児が罹患した場合、肺炎や気管支炎などを引き起こし、重症化する確率が高いため、身近に小さなお子さんがいるご家庭では特に注意が必要です。

感染性胃腸炎(ロタウイルス/ノロウイルス)

インフルエンザウイルスやRSウイルスが呼吸器系の症状を引き起こすのに対し、感染性胃腸炎の原因となっているのがロタウイルスやノロウイルスです。嘔吐、下痢などの症状が特徴で、感染力が強く、時に集団感染を引き起こします。

ロタウイルスは、ノロウイルスほど感染力は強くありませんが、主に乳幼児の感染性胃腸炎の原因となっており、乳幼児が罹患した場合には重症化し、合併症を引き起こすことがありますので、注意しましょう。

感染症予防のポイント

感染症の感染経路は、主に「飛沫感染」「経口感染」「接触感染」があります。それぞれの経路に応じた予防対策をしましょう。

一、飛沫感染を防ぐ

(インフルエンザウイルス/RSウイルス)
飛沫感染は、せきやくしゃみで生じるため、うつさない、うつされないためにもマスクの着用が重要です。また、うがいも有効です。

二、経口感染を防ぐ(ノロウイルス)

二枚貝などの生食や、ウイルスが含まれた食品や水を口にするにより感染します。調理をする人は手洗いを充分にし、カキなどは充分に加熱して食すようにしましょう。

一、接触感染を防ぐ

(RSウイルス/ロタウイルス/ノロウイルス)
ウイルスに触れた手で、目や口、鼻などの粘膜にすることで感染します。手洗いを励行し、家の中は常に清潔に保つよう気をつけましょう。



その他、普段からバランスのよい食事と十分な休養で、免疫力を高めておきましょう。感染症予防や重症化を防ぐ助けになります。

気をつけていただきたいこと

子どもと大人とでは、かかりやすい病気も異なります。また、大人では軽症ですむ病気でも、子どもが罹患すると重症化するケースも多々あります。自分の症状を言葉で伝えられない乳幼児や小さな子どもの場合は特に、周囲の大人の方が常に気にかけてあげることが大切です。そして少しでも異常を感じたら、ご自身で判断するのではなく、必ず適切な医療機関で診察を受けてください。ご家族の中にも同じ症状を発症している方がいる場合でも、安易な判断は禁物です。

感染症と診断されたら、治療と同時に、感染を拡大させないことが重要です。特にノロウイルスやロタウイルスは、接触感染を避けるため、罹患した方の嘔吐物などはビニール手袋を使って処理し、直接触れることは避けましょう。また、症状が治まってもウイルスが残っていることがありますので、完治するまではタオルなども専用のものを用意するとよいでしょう。

出張セミナー報告

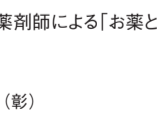
2014年6月16日、「デイサービスセンターげんきの郷」様にお招き頂き、薬剤師による「お薬と上手な付き合い方」をテーマにお話をさせていただきました。ありがとうございました。



2014年6月17日、「デイサービスセンターげんきの郷」様にお招き頂き、薬剤師による「お薬と上手な付き合い方」をテーマにお話をさせていただきました。ありがとうございました。



2014年6月17日、「堀之内草の実サロン」様にお招き頂き、薬剤師による「お薬と上手な付き合い方」をテーマにお話をさせていただきました。ありがとうございました。



2014年7月10日、老人会「静波二丁目白寿会」様にお招き頂き、薬剤師による「お薬と上手な付き合い方」をテーマにお話をさせていただきました。ありがとうございました。



2014年7月26日、老人会「下江留アイアイクラブ」様にお招き頂き、薬剤師による「お薬と上手な付き合い方」をテーマにお話をさせていただきました。ありがとうございました。



2014年8月7日、「いきいきサロン大海老会」様にお招き頂き、薬剤師による「お薬と上手な付き合い方」をテーマにお話をさせていただきました。ありがとうございました。



2014年8月12日、「いきいきサロン豊岡」様にお招き頂き、薬剤師による「薬と食べ物の飲み合わせ」をテーマにお話をさせていただきました。ありがとうございました。



2014年8月26日、「脳トレ友和会」様にお招き頂き、薬剤師による「お薬と上手な付き合い方」をテーマにお話をさせていただきました。ありがとうございました。



感染症の予防と脱水症状の対策に!!



子どもの下痢やおう吐の際の脱水症状を予防するため、経口補水液(OS-1)を備えておくことも大切です。



感染症の予防には、まずは手洗いとうがいです!!さらに除菌スプレーや除菌水で常に手肌を清潔に保ちましょう。